

南信

中高一貫の 未来図

諏訪清陵付属中 来春開校

13

県内校の実践 ③

第3部

9月29日、松本秀峰中等教育学校（松本市埋橋）が同校で開いた学校説明会に、小学生や保護者ら計約150人が集まつた。「（中学相当の）1～3年で高校の学習内容を一部先取りし、6年生は大学受験に向けて総括ができる」。保護者はこうした説明を真剣に聞き、同校に対する関心の高さを示した。



松本秀峰中等教育学校が開いた学校説明会。小学生や保護者ら約150人でいっぱいになった=9月29日、松本市埋橋

中等教育学校や女子校

4年（各学年2学級）の計33人が学ぶ。1、2年で中学生、3～5年で高校の学習内容を終え、6年は大学受験対内2位」と胸を張つた。

策に集中。説明会で担当者は

「直近の全国模試で、4年（高

校1年）の学校別平均点は真

容を終え、6年は大学受験対

内2位」と胸を張つた。

独自カラーで視野広げ

れた同女子学院中学校（同）は、

県内の中高一貫校唯一の女

子校で、キリスト教に根差

した教育内容が特徴だ。西沢

善明校長（65）は「多感な時期

に人を愛し、大切にすること

を身に付けてほしい。家庭

と仕事を両立し、社会に貢献

できる女性を育てたい」と言

う。

一方で菱田智晴教頭（50）は

「高校入試がなく、大学受験

はさらに先のため、目的を覗

う生徒もいる」と指摘する。

その対策が4年生の4月に組

み込んだ海外研修だ。初めて

実施した今年は2週間近く英

国に滞在し、ホームステイや

企業学校訪問で英語圏の文

化に触れた。

2年生で海外留学経験者の

話を聞いたり、英國文化を学

んだりする授業を始め、3年

生では英会話を力を入れる。

6年間の中間に大きな目標を

設定し、学習意欲を維持した

という。

4年の小松美希さん（15）は

現地の同世代の子どもと将来

について話したといい、「人

助けをする仕事をしたいとい

う思いが同じだった。お互い

頑張ろうと言えた」。菱田教

頭は「海外で働くことに興味を持った生徒もいる」と、研修の成果を強調した。

同中は1学年1学級（35人）。同高に進んでもクラスの顔ぶれは変わらない。6年間を通じて人間関係を深めることができるが、西沢校長は「人間関係が固定されることへの配慮も必要だ」。週2回の「総合的な学習の時間」に社会人や大学生を招き、進路選択の考え方や高校時代の過ごし方などを聞いて視野を広げる試みをしている。

同じ敷地内で学び、部活動

も一緒に同高生徒から受ける

影響も小さくない。同中1年

の宮沢那歩さん（12）は吹奏楽

部で高校生と活動している。

「先輩は礼儀正しい。自分も

伝統を受け継ぐような先輩

になりたい」。最大で5歳年

長の高校生と接することの魅

力を語った。

開校4年目の同校では1人

「将来の夢は医者」。母親（41）は「ここで授業を受けられたらどの思いが高まつた。息子の夢に近づける」と目を輝かせた。

09年に長野清泉女学院高
校（長野市箱清水）に併設さ